

【 経営方針(総括目標) 】
じりつ(自律・自立)した か が や く 子どもの育成

○よく考え自ら学習する子
【自立】

【学校教育目標】
○仲良く助け合う子
【自律・協働】

○たくましい体と気力のある子
【体力・気力】

目指す学校像

- 子ども一人ひとりの居場所がある楽しい学校
- 子ども一人ひとりの学び・育ちを保障する学校
- 保護者・地域と共にある学校
- チームとしての学校

学校・家庭・地域の共育

目指す教職員像

- 子ども一人ひとりを大切にする学級経営ができる教師
- 生徒指導4つのポイントを生かした授業ができる教師
- 心身ともに健康で、協調性のある教師
- 進んで保護者や地域と関わり信頼される教師

目指すこども像

夢や希望の実現に向けて意欲的に学習する子

自他のよさや違いを認め、互いに協力し高め合う子

進んで運動に親しみ、何事も最後までやり通す心身ともにたくましい子

地域の自然や文化・歴史に親しみ郷土を大事にする子

- 【 令和7年度 重点目標 】
- ① 「確かな学力」の確実な定着(学年における基礎基本の確実な定着)
 - ② 「豊かな心」の育成(特別活動・道徳教育に全校体制で取り組む)
 - ③ 健康と体力の向上(基礎体力の向上)
 - ④ 目的意識の高揚(キャリア教育の推進)
 - ⑤ 基本的生活習慣の確立(凡事徹底「吉原っ子のあたりまえ」「学習のところがまえ」)
 - ⑥ 地域の特色を生かした開かれた学校づくり(SDGs・ESD教育と関連づけた体験学習)
 - ⑦ ICTの授業での活用と校務における活用の推進

児童につけたい力【育成を目指す資質能力】

粘り強く学習し、当該学年の読み、書き、計算ができる

往還

自分の考えや気持ちを表現することができる

往還

自分のことが自分ででき、友だちと協力することができる

具体的な取組

○学年における基礎基本の確実な定着
→単元計画表、ガイド学習
○朝の帯時間における基礎基本の定着
→音読、計算、タイピング
○基本的生活習慣の確立
・凡事徹底「吉原っ子のあたりまえ」「学習の心構え」の徹底
○基礎体力の向上
→なわとび、鉄棒、マラソン、ボール投げ、のぼり棒等への継続的な取組

評価指標

・学びのたしかめ、到達度調査 県平均以上
・児童質問紙における「よくできた」回答率75%以上を目指す。
・新体力テスト 八重山地区平均以上

○主体的に「問い」をもち、自分なりの考えをもつことができる授業
→学力向上推進P P II、問いサポ等再確認
○特別活動の充実
→異年齢による「吉原っ子会議」を計画的に取り入れ、話し合い活動の充実を図る
○G I G Aスクール構想における「個別最適」な学習環境づくり
→授業における端末の活用

・QUアンケートにおいて(要支援群・学級満足群0人)を目指す。
・学校評価の関係項目において「よくできた」を75%以上を目指す。

○基本的生活習慣の確立
・凡事徹底「吉原っ子のあたりまえ」
○地域と連携した体験活動の充実
→シュノーケリング、藍染め、異規模校交流、特別支援学校交流
○自己肯定感を高める取組
→ほめことばシャワーの実践
○学校をきれいにする取組
→清掃、環境美化活動の充実
○道徳教育、人権教育の充実
→QUアンケートの活用
→道徳授業公開

・QUアンケートにおいて(要支援群、学級満足群0人)を目指す。
・学校評価の関係項目において「よくできた」を75%以上を目指す。

○家庭・地域と連携した教育活動の推進 ○児童・保護者との信頼関係の構築 ○確かな学級経営
○校内研修・OJTの充実 ○働き方改革ピースフルプランの推進